

## 白松沢中俣右沢

1991年7月27日

Li

夏合宿の一貫として、大戸岳の南面の沢、白松沢に入る。我々の目標は中俣右沢を遡行し、深沢の下降である。白松沢の右俣を遡行し、中俣左沢を下降予定の橋内・鈴木パーティと最初は同一行動をとる。

出合からすぐナメが断続した時は、この先期待がもてると思ったのだが、導水管と取水堰を過ぎたあとは、全く平凡となってしまった。出合から取水堰までが10分、そのあと右俣出合まで90分間は、河原歩きがえんえんと続いた。

9:10右俣出合。ここで小休止をとり、橋内・鈴木パーティと分かれて中俣に入る。沢はこのあたりから傾斜を増してきたが、滝はかからない。

9:45左沢出合。左沢はカレ沢となっている。右沢はもう細いが、兩岸が狭まり、なにかありそうな予感がする。案の定、小滝が連続して現われた。小滝5つを越えた先の6mは、右岸を直登する。下部はシャワークライムとなった。続く6m2条の滝は、若干ナメ状。私は左の水流にそって、小野さんは右の水流にそって、それぞれにルートを求めて登る。次の4mは、左岸の草付きを登って捲き、最後の3mは、左岸の草付きを微妙なバランスで越し、小野さんにシュリンゲを出す。ここがこの沢のハイライト。あとはルンゼ状となった急傾斜のミゾを登り、11:20大戸岳東方の登山道に出る。

[タイム] 白松沢出合(7:25)→取水堰(7:35)→右俣出合(9:10, 9:25)→沢終了(11:10)→大戸岳(11:30)

